

東京2020パラリンピック 男子マラソンT46

本市出身で村上桜ヶ丘高等学校陸上競技部に在籍した

なが た つとむ 永田務選手が銅メダルを獲得



写真：西村尚己/アフロスポーツ

この度、東京パラリンピック2020男子マラソンT46におきまして、
たくさんの応援ありがとうございました。
無事、走り終え、念願のメダルを獲得することが出来ました。
これも、たくさんの方々からのお力添えと皆さんの御声援のお陰と
感謝しております。
今後とも宜しくお願い致します。
永田 務

東京パラリンピック競技大会最終日の9月5日、陸上競技マラソンT46（男子）に日本代表として出場した永田務選手（本市出身）が見事3位入賞、銅メダルを獲得しました。

レースは、雨が降りしきる中でのスタート。序盤から先頭集団につける積極的なレース運びを展開する永田選手は2選手に先行されるものの、持ち前の粘り強い走りで追走。ゴールの国立競技場内に入ると、関係者やボランティアが大きな拍手で迎え入れ、それに応えるように永田選手はこぶしを突き上げながら笑顔でゴールしました。

自身が目標としていた金メダル獲得と自己記録更新は成りませんでした。本市出身者のメダリストとしての偉業は、私たち市民に感動と勇気を与えてくれました。

永田選手、おめでとうございます。

村上桜ヶ丘高等学校陸上競技部

部長 藤田尚己さん（2年生）

腕がうまく使えない状況でもきれいな走りを

していて感動しました。自分も頑張れば何事も成し遂げられると勇気が湧きました。お会いできたら大会の雰囲気やコロナ禍でどのような練習をしてモチベーションを保っているかを聞きたいです。

同校陸上競技部顧問 鈴木圭輔教諭

オリンピック・パラリンピック競技大会陸上競技スタッフとして、会場で永田選手の走りを見ました。生徒たちは、自分たちも永田先輩の背中を追いかければできるということを感じ、コロナ禍でも逆境に負けない強い心を学んだのではないかと思います。



9月1日、陸上競技部の後輩は、レースを迎える永田選手にエールを届けようと、SNSで寄書きと応援メッセージを投稿しました。永田選手からはお礼のコメントをいただきました。